



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

活動報告書

久米川なかよし保育園

ふたば組(1歳児)

1.活動のテーマ

『水の探究』

2.問いを考える

日常から水に触れるのが好きで身近にあるものだった。

常に身近にある水に焦点を置き変化していく様子を遊びながら興味を深めていく



3.環境をデザインする

- 6月雨を観察する
- 7月水にたくさん触れ合う
- 8月絵具・泡あそび
- 9月小麦粉ねんど・室内で絵具
- 12月 職員に園内研修で活動報告
- 2月保護者に活動を掲示紹介

【道具】絵本、ウォーターテーブル、えのぐ、シャボン玉、手洗い洗剤、水車、小麦粉、つながるリング

【環境設定】1人ひとりにおもちゃが渡るように多め準備をしておく。

4.探求活動の実施

○活動内容

子ども達と雨の日に外に出て、自然の水を観察する。「つめたい」「ぽつぽつ」など音や感触を感じながら水を五感で知る。

次に外では水遊びを行った。最初は水をすくって遊んだりしていた。「他の水の遊び方はないか」と考えた時に、子どもたちが普段あわや絵具も楽しんでいたのもので戸外で実施した。

○子どもたちの様子

絵本や歌を通して雨(水)に興味をもち雨の日散歩を楽しんでいた。遊びを通して水を全身で浴びながら感じている姿もあった。特に絵具や泡はいつも以上にダイナミックに遊んでいた。



もこもこ



おみずと
まざったよ



♪ぽつぽつ
あめのおと



びしょ
びしょ



探求活動の実施②

○活動内容

部屋の中では、手洗い・飲み水に触れながら「遊べる水」「身体を助けてくれる水」と子どもたちに話をしながら水との関りを話していった。戸外と同じように室内でも絵具遊びをすると座って絵具も行う。また、小麦粉と水をまぜ粘土にするといつもと違う粘土にして子どもたちに提供した。

○子どもの姿

飲む水、手洗い水については絵本を見ながら聞いていた。絵具遊びは戸外とはまた違いゆっくりと筆で色を混ぜて楽しむ姿があった。小麦粘土では作る過程からを観察していた。最初は触ることに躊躇する姿もあったが様々な形になると喜んでいた

ごし
ごし



べたべた
やだ…



おいしい
おみず



5.振り返り

身近な水に意識をもち、様々な方法で遊んでいけて良かった。冬まで続け氷などにも触れられたら1年を通して遊べたかと思う。

雨の日には雨の絵本や歌を口づさんでいる様子がみれた。水遊びでも上から降る水を「あめ」と言ってよく遊んでいた。自然と遊びの中でたくさんの水に触れていた。

1歳児ということで、水遊びや室内と園内ですくわくを展開していたので成長していく中でもっと水について知っていけたら楽しそうだと感じた。



水に絵の具や小麦を入れダイナミックに遊んでいて五感を刺激され楽しそうだった。普段の水だけではなく様々な形に変化する水の遊び方を考えていきたい

飲み水、手を洗う水、遊ぶ水などと子どもたちがよく理解しながら水に触れていた。絵本などをもう少し通して水について深めていたら面白かったとおもった。